



2020 December

No.580

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

## 理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

### 基本方針

<b>患者中心の医療</b> 患者の人権と意思を尊重します	<b>診療3本柱</b> がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります	<b>完結型医療</b> 地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います	<b>地域包括ケア</b> 地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します	<b>社会貢献</b> 災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います	<b>医療人育成</b> 地域医療に貢献できる医療人の育成を行います
----------------------------------	--	--	---	---	---------------------------------------

# 非侵襲的に肝臓の硬度の評価が可能 県内初！ MR エラストグラフィを導入

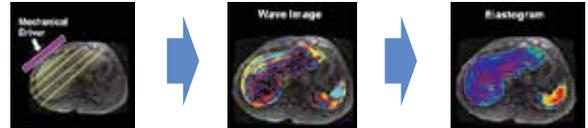
## 非侵襲的に肝臓の線維化程度を定量可能

肝臓の線維化の診断は、肝生検等の侵襲的な手法が一般的ですが、MR Elastography(MRE)では非侵襲的な診断が可能になります。特殊な外部刺激装置を用いて肝臓に振動を与えながら撮像をおこない、肝臓の線維化を反映した硬化度を定量的に評価することができます。熊本県内でMREが稼働しているのは人吉医療センターのみです。

肝臓に振動を与えるパッシブドライバ



振動が波として肝臓全体に伝わり、波の伝搬速度から肝臓の硬さを定量化します



## MR エラストグラフィ検査の特長

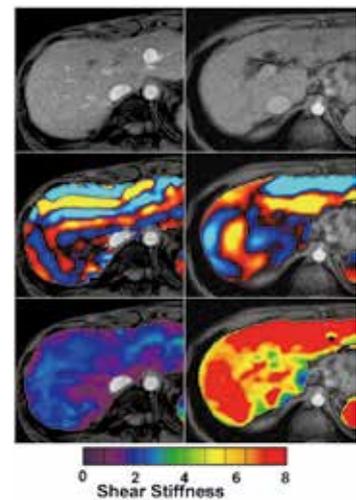
- **非侵襲的な検査が可能**  
造影剤の投与や被ばくのないリスクのない安全な検査です。
- **息止め時間内で撮像可能**  
MR エラストグラフィは息止めでの短時間検査が可能です。
- **自動的に振動デバイスと撮像が同期**  
MR エラストグラフィ (MRE) ではパッシブドライバと呼ばれるデバイスを腹部に設置し、その振動の伝搬速度から肝臓の硬さの程度を算出します。デバイスの振動とRFパルスは自動的に同期され検査が行われます。
- **MREとUSE(US エラストグラフィ) との特徴比較**  
USEと比較してMREは肝全体をカバーでき、操作者依存が少なく再現性が高いのが特徴です。

- **料金に関して**  
3割負担の場合ー 8,490円  
1割負担の場合ー 5,830円

画像診断センター 井上 義晴

ご予約は予約センターまでお願いします  
外来予約センター  
TEL 0966-22-1900 0966-22-7878  
FAX 0966-22-7879  
(予約受付時間 8:30 ~ 17:00)

正常な肝臓 硬い肝臓



現在、肝臓の線維化を診断するため、超音波診断機器を使用するエラストグラフィがありますが、肝生検に比べ侵襲性が少なく繰り返し検査をすることが可能ではありますが、肝臓の一部の硬さしかわからず、肝臓全体の線維化を診断ができません。  
しかし、このMR エラストグラフィは、MRIを利用して肝臓の硬さを広範囲にわたり測定し、より正確に肝臓の線維化を調べることができ

き、早期からのリスク診断の一助になる可能性があると考えられています。  
他医療機関からの撮影依頼もお受けしておりますので、今後積極的に診断ツールの一つとして活用していただければ幸いです。

肝臓内科 高野 理恵子

## 在宅療養を支援しています！～ お家で最期まで過ごせます～

当院では、主に癌の終末期の方で、通院が難しくなってきた方への在宅医療をおこなっています。

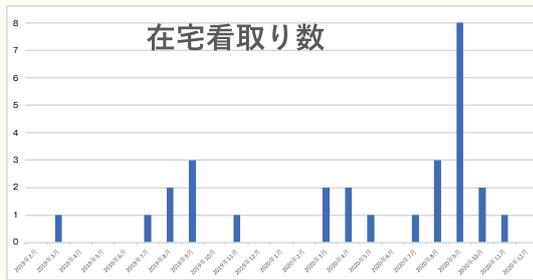
### <社会の変化>

新型コロナウイルスの流行により、今年2月から、入院患者さんへの面会ができなくなりました。入院では、人生の最期を家族と過ごせないため、在宅医療を希望される方がとても増えました。

当院の患者様で、ご自宅での看取りをされた方が、昨年度は9名でしたが、今年度はすでに20名を超え、およそ3倍のペースとなっています。

### <様々な支援>

・病状に応じて、1～2週間ごとに医師の訪問診療をおこなっています。



・訪問看護による支援も欠かせません。ご本人の病状を確認しケアをおこなうだけでなく、介護するご家族の相談にも、365日24時間対応いたします。

・必要時、ご自宅でも、医療用麻薬などの点滴や酸素投与をおこなうことができます。  
 ・介護疲れが出てきた時や、集中的に症状管理をした方が良い時は、いつでも入院に切り替えられます。落ち着いたら、またお家に帰ることができます。  
 ・当院の医療ソーシャルワーカーが、ご自宅で受けられる様々な支援の紹介や調整をおこないます。



### <これから>

今年8月から、熊本医療センターの緩和ケアチームと月2回リモートで勉強会をおこなっています。

また、人吉市内の在宅医療をおこなっている先生方とも勉強会を始めたところです。

最期まで、安心してお家で過ごせる地域を作るために貢献していきたいと思います。

緩和・在宅医療センター長 渡邊 龍太郎

## 在宅療養後方支援病院について

在宅療養後方支援病院とは、平成26年度の診療報酬改定で設けられたもので、在宅療養をされている患者さんが、急な体調変化など「緊急時」においてもスムーズに受診・入院ができる体制をかかりつけ医との間であらかじめ整えてある医療機関を指します。

当院は、地域の在宅医療を支えるべく在宅療養後方支援病院として、在宅医療を受けている患者さん（在宅酸素、人工呼吸器等の医療処置を受けておられるなど対象要件があります）を事前登録していただき、「緊急時における迅速な対応」「24時間体制の後方支援」をおこなっています。

### ～受け入れまでの流れ～

#### ① 制度の紹介

かかりつけ医より患者さんへ制度の紹介をおこなっていただき患者さんの希望及び合意を得ていただきます。

#### ・事前登録

かかりつけ医より当院へ「在宅療養後方支援希望届出書」

「診療情報提供書」を提出いただきます。

当院にて登録手続きをおこない、「在宅療養患者カード」

を発行し、患者さんにお渡しいただきます。

（受診時に掲示ください）

#### ② 定期的な情報交換

かかりつけ医と患者さんの健康状態について情報共有を図りながら緊急時に備えます。（かかりつけ医より1回/3ヶ月患者さんの状態について確認の書類を返送いただきます）

#### ③ 緊急時の紹介・入院受け入れ対応

かかりつけ医が「当院での治療が必要」と判断された場合に紹介受け入れを対応致します。

制度をご活用いただき在宅療養をされている患者さんの安心に繋がればと思います。

お問い合わせ先 JCHO 人吉医療センター 医療福祉連携室まで

TEL 0966-22-2191（内線240）



## 7月災害豪雨で被災された方の医療費について (R3年1月以降)

現在、今回被災された方で該当者につきましては、受診の際、申告や免除証明書を提示することで窓口負担の支払いがR2年12月末まで不要となっております。

R3年1月以降については、各保険者で対応が異なるため、詳細につきましては各保険者にお問合せ下さい。

※全国健康保険協会（協会けんぽ）：免除証明書の交付を受けることによりR3年3月31日まで延長となっております。

## 地域医療研修 in 沖永良部

私は2020年11月に朝戸医院で地域医療研修をさせていただきました。

朝戸医院は鹿児島市から南に約550km南にある、奄美諸島の一島、沖永良部島にあります。隆起サンゴ礁の島で「花と鍾乳洞の島」の異名があり、エラブユリなどの花き産業や鍾乳洞群などの観光業が盛んです。温暖な土地で、11月ながら長袖ではじっとり汗ばむ気候でした。

研修内容としては、外来陪席を主として、関節内注射やトリガーポイント注射を始めとした手技や、X線・CT撮影などをさせていただきました。また、就学時健診や予防接種などの予防医療、デイケアや在宅・施設訪問、サービス担当者会議や介

護認定審査会など介護分野の研修にも参加する機会をいただきました。

島での人々の生活や療養環境に触れ、より住民のためになるよう医療・介護・行政・地域の団体で様々な変革を行われてきた経緯も学ぶことができました。本研修を通して、患者さんの医学的側面だけでなく生活・環境にも配慮できる医師として研鑽を積んでいきたいと感じました。

お世話になった方々皆様に御礼申し上げます。貴重な経験をさせていただきました、ありがとうございました。

臨床研修医 筑地 翔一郎

## クリニカルクラークシップ【地域医療】

今回、クリニカルクラークシップの地域医療実習で、人吉医療センターにて3週間実習させていただきました。総合診療科では3週間同じ患者さんを担当させて頂き、毎日朝夕の回診などで患者さんの状態を把握し、それをカルテに記載するという事を通じて、3週間通して経過をみる事ができました。3週間で退院された方や、状態が徐々に良くなっていく方の様子を継続的に見る事ができ、大変勉強になりました。また、総合診療科の外来では、問診や身体診察、カルテ記載をさせていただきました。病棟、外来と臨床医としての業務内容を一部ではありますが体験することができ、今後の自分の働き方をイメージするとても良い経験であったと思います。

五木村診療所や訪問看護でも実習をさせていただきました。都市部の病院に比べ医療アクセスが良くない地域での診療の在り方や、退院後の患者さんの生活、或いはそれを支えるご家族の大

変さなどを垣間見ることが出来ました。こうしたことから今回の実習は、それぞれの患者さんの病院外での普段の生活を考慮した医療の必要性というものを改めて認識できる貴重な機会となりました。

田浦先生をはじめ総合診療科の先生方や研修医の先生方、多くのスタッフの方々には実習中はもちろん、実習時間外でもとても親切にして頂き、大変充実した3週間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。人吉の街の一日も早い復興を陰ながら祈っております。



熊本大学医学部医学科5年 五江淵 景明

## 医療安全・認知症ケアチーム合同研修「転倒予防について」

厚生労働省より医療安全に係る安全のための研修を全職員に2回/年実施することが義務づけられています。

また、当院は認知症ケア加算1を取得しており、認知症ケアチームによる認知症患者に関わる職員を対象とした研修を実施する必要があります。

そこで、今年度は医療安全・認知症ケアチーム合同研修として、「転倒予防について」のオンライン研修を行いました。認知症患者の転倒リスクは非常に高く、なぜ認知症があると転倒しやすいのか、転倒しないようにするための対応を知っていた

だく内容になっています。認知症患者にとって病院に入院することによる環境変化、疾患による症状や苦痛、診療行為、治療、治療に伴う制限、職員の対応などが、認知症症状を悪化させる要因になります。そして、ストレスや不安などが増している状況下で入院生活を送っておられることを認知症患者に関わる職員が十分に理解し対応することが転倒予防につながると思います。

今後とも、ご協力よろしく願いいたします。

医療安全管理室 城本 真由美

認知症患者  
【悪い対応】



認知症患者  
【良い対応】



## 特定看護研修

2025年に向けて、さらなる在宅医療等の推進を図っていくためには、個別に熟練した看護師のみでは足りず、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助を行う看護師を養成し、確保していく必要があると、21区分38行為(特定行為)を実施する場合の研修制度が創設されました。当院では特定行為のうち、創傷管理関連として3区分5行為について研修を行っています。現在、3名が研修しており、先日は、デブリードマンの実習で剪刀、攝子の持ち方から学び、緊張しながら、楽しみながら学ぶことができました。今月すべての講義が終了し、これからテスト、実習を行っていき、本年度中に研修が終了する予定です。業務の合間に研修を行うため、多く



の方の力をいただきながら、もう少し勉強させていただきます。研修合格し、日頃のケアに活かしていけるように頑張っておりますので、ご協力をお願いします。

看護師 繁富 香

## 人吉球磨地域自殺対策検討会

今年は、芸能界の方が相次いで自ら尊い命を絶つ、悲しいニュースを目にすることがありました。新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、生活に不安を感じ、生きづらさを感じている方が多いのではないかと思います。そのような中、11月25日に令和2年度(2020年度)人吉球磨地域自殺対策検討会が球磨地域振興局で開催されました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、入室前の検温、手指消毒、換気を十分に行われた上での開催となりました。

この会は、平成28年度から「自殺未遂等で救急外来を受診し、外来処置のみで帰る方への対応や精神科病院へつなぎ・連携についての検討が必要」という喫緊の課題解決を趣旨に個別事例を通して体制整備を目指していくことを目的としています。人吉保健所、精神保健福祉センター、熊本県障がい者支援課、救急医療機関、精神科医療機関、警察署の参加があり、当院から

医師、看護師、臨床心理士、MSWが参加しました。今年、当院での自殺企図患者の状況報告ならびに具体的事例を報告し、その対応方法や問題点について協議しました。現場で、身体科と精神科の医療機関での自殺企図に対する捉え方やお互いの思いの食い違い等で上手く連携が図れない場合がありますが、直接意見を交わし、共通認識を深め、継続していくことが大事ではないかと考えております。また、熊本県精神保健福祉センターより今年度は新型コロナウイルス感染症の影響等で、電話相談が増加している報告と熊本地震3年後の令和1年は自殺患者数が増加傾向であることの報告がありました。今年の7月豪雨で人吉球磨地域は大きな被害を受け、多くの方が悲しみや不安を抱えておられます。気軽に相談できる窓口や地域の皆さんで支えられる様な環境作りが必要と思われれます。当院としても地域の関係機関と連携し、自殺対策への取り組みに寄与していきたいと考えております。

医療福祉連携室 田頭 隼人

## 「人吉・球磨豪雨災害とがん医療」

12月13日(日)に開催された「熊本県がん診療連携協議会セミナー 令和2年度県民公開講座」で

「人吉・球磨豪雨災害によるがん医療への影響と今後の課題」について講演させていただきました。

講演では、当院データや職員、行政、医師会、患者・家族、薬剤師会、介護関連事業所などへのアンケートをもとにお話をさせていただきましたので、ここで簡単にご紹介します。

7月4日の豪雨災害では、人吉市にある医療機関の約60%にあたる26ヶ所と調剤薬局32ヶ所が被災し、がん医療へも大きな影響がありました。幸い当院は7月6日から通常診療が可能となり、がん診療も手術や化学療法、放射線治療、ハイパーサーミア、緩和ケアなど通常通り行うことができました。7月5日に立ち上げられた「人吉球磨医療圏保健医療調整本部」とも連携して患者さんの受け入れ調整なども行えました。しかし、地域の医療機関や患者・家族のアンケートからは、治療を断念せざるを得ないなど大変な状況も窺えました。

医療機関へのアンケートでは、多くが検査機器や入院設備、通信手段が使えないこと、医療者や診療情報が不足したことなどががん診療の機能を大きく低下させたと回答されました。ただ、そのような状況下でも、7月10日時点で条件はあるものの31の医療機関で外来診療を開始され、当院以外で内服化学療法や緩和ケアを行う医療機関のほとんどががん診療可能な状況になりました。

がん患者さんへのアンケートでは、被災により通院手段がなくなったり、避難所での体調管理が困難になったりと理由で

化学療法や放射線治療を中止せざるを得ない方もいました。また、かかりつけ医の被災で診療情報を喪失したり、在宅見取りの希望が叶わなかったりと様々な影響があったようです。

今後の課題としては、既存の「熊本県災害時がん診療情報共有要領」に基づく情報共有と診療の補完体制の更なる拡大・充実が必要と思われれます。当院でのがん診療が困難になった場合、圏域を超えた受診・受療を可能にする体制が望まれます。また、「災害に影響されないネットワーク」構築の観点から、がん連携バス(「私のカルテ」)・「くまもとメディカルネットワーク」の推進、加えて人吉球磨医療圏保健医療調整本部解散後も持続的に広域な受診調整・入退院調整を行うシステムの構築も重要でしょう。そして、被災者の通院継続の為に、医療ケアもできる福祉避難所の増設なども有効と考えます。がん患者さんと各機関においても、複数の連絡手段の確保やがん相談支援センターなど相談窓口、各種支援制度の確認をしておくことをお勧めします。さらに、「私のカルテ」、「お薬手帳」の常備と「くまもとメディカルネットワーク」加入なども重要なこととして考えられるでしょう。

最後になりましたが、被災され、今もお大変な思いをされている方々へのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。また、当院へも県内外より暖かいご支援をいただきましたこと、アンケート等にも快くお答えいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。なお、今回の講演はYouTube配信もされておりますので、よろしければご覧ください。

医療福祉連携室・がん相談支援センター 南 秀明

## 働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます！

当院では、月1回、多職種による労働安全衛生委員会のラウンドをおこない、働く環境の場の改善に取り組んでいます。

整理整頓、清掃、照明、室温、臭いなどをチェックし、問題があれば、改善策を立てます。大規模な換気工事につなげたこともあります。

そこで働いている人は、その環境に慣れてしまい、気付かなくなっている事もあるので、それを第三者の目で見直すことが目的です。また、長時間労働や定期検診、ストレスチェック、

予防接種など、職員の健康改善について話し合っています。

当院では、産業医・心理療法士が常駐していますので、メンタルヘルス不調についても、いつでも相談できる体制となっています。

家族的で、誰もが働きつけられる職場づくりのために、これからも活動していきます。

労働安全衛生委員会

## 医療費控除について

今回、年度末の確定申告での医療費控除についてご紹介します。一定の額の医療費を支払ったときは、確定申告を行うことで所得税及び復興特別所得税が還付される場合があります。

自分や家族のために支払った医療費等の実質負担額が年間(1-12月)10万円(総所得金額等が200万円未満の人は「総所得金額等×5%」の額)を超えた場合、その超えた金額をその年の所得から差し引くことができます。控除できる金額の上限は200万円です。

また、介護保険を使った場合の介護費用(諸条件あり)、医療上必要と認められた紙おむつなども控除の対象となります。(おむつについては、医師の証明が必要です。)

「高額療養費」、「高額介護サービス費」、「高額医療合算介護サービス費」による払い戻しを先に受けた場合は、「それぞれで還付された金額を差し引いた額」が控除の対象となります。

また、通常の医療費控除以外にも医療費控除特例としてセル

フメディケーション税制もあり、特定の医薬品を購入したときは、確定申告を行うことで所得税及び復興特別所得税が還付される場合があります。(通常の医療費控除の適用を選択した場合は受けることはできません。)

当院では、領収書の再発行は行っておりませんが、ご依頼があれば納入済み証明書を発行しております(有料)。複数のご家族が当院に受診されている場合には、ご家族の方の医療費をまとめて納入済み証明書を発行することができますので、ご希望の際は2F会計にお申し付けください。

※ご家庭の所得によって控除する金額の計算方法が異なったり、所得税がかからない方は控除の対象にあたらないなど、条件は個々で異なりますので詳しくは税の窓口にお尋ねください。

国税庁ホームページ 医療費を支払ったとき(医療費控除)

[https://www.nta.go.jp/publication/pamph/koho/kurashi/html/04\\_1.htm#selfmed](https://www.nta.go.jp/publication/pamph/koho/kurashi/html/04_1.htm#selfmed)

その年中に  
支払った医療費

— 保険金などで  
補てんされる金額 —

10万円又は所得金額の5%  
(どちらか少ない額)

= 医療費控除額  
(最高200万円)

## 連携施設 探訪

当院では、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。今回は、「グループホーム すずらん」さん(人吉市鬼木町1423-1)です。

## グループホーム すずらん Vol.40

### 【施設の特徴】

食事や排泄、楽しみを大切にしています。食事はできるだけ、口から食べて頂くことを目標に常食からソフト食まで対応しています。見た目楽しんで頂けるよう盛り付けに気を配り、ソフト食では何を食べているかわかるように、形を整え提供しています。

排泄は、できるだけ薬を使わず排便できるように、水分摂取をジュースやゼリーを多様にもちいて、またオリゴ糖を混ぜたりしながら、排便を促しています。実際に下剤の量が減った方もおられます。外出や楽しみ、その他入居前の生活リズムを継続できるように努めています。(看取りについて:現在は休止中です)

### 【対象者】

要支援2以上の認知症高齢者であって、少人

数での共同生活を営むことに支障がでないと思われる方。

### 【サービスの内容】

認知症対応型共同生活介護 一定員9名-

### 【地域の皆様に一言】

ホーム理念の「その人らしい人生を送ってもらえるよう、笑顔と幸せあふれる生活のお手伝いをします」を基本とし、お互いに笑いあえる時間を大切に、その人の「生きる」ことに寄り添いながら毎日を過ごしています。地域の皆様、いつでもお気軽にお立ち寄りください。

### 【お問い合わせ】

TEL 0966-24-3504

FAX 0966-24-3507

管理者 高原 眞美



## くまもとメディカルネットワーク WEB 研修会

11月17日、水俣市立総合医療センター、熊本大学病院との合同による「くまもとメディカルネットワーク（以下 KMN）」活用 WEB 研修会を開催しました。

水俣市立総合医療センター、阿蘇医療センター、熊本大学病院、当院は KMN パイロットエリアに選ばれた基幹病院です。

研修内容は、当院から「くまもとメディカルネットワーク～ KMN 基幹病院に求められるもの～」、水俣市立総合医療セン

ターから「医療文書送受信の取り組み」について発表を行いました。今回は初めての合同開催、WEB 研修会、日中勤務時間内の開催にも関わらず、15施設、33名の参加がありました。

しばらくは WEB 研修が中心となると思われるため、今後は熊本県内で対象地域を広げながら開催できればと考えています。

医療福祉連携室 山田 一裕

## 花壇植え替え

地域協力会園芸部の皆さんに色とりどりの季節の花を植えていただきましたのでご紹介いたします。

病院駐車場入り口(北側)に花壇がありますが、7月4日の豪雨の際、たくさんの土砂が流れこみました。今回は石を取り除き、肥料を入れていただく作業から始めていただきました。

11月21日(土)朝から花植え作業が行われ、今回は、パンジー、ナデシコ、キンギョソウ、ノースポール、ハボタンの5種類を植えていただきました。

最近では霜が降りる日もありますが、その寒さにも負けず咲く花に勇気づけられ、また、当院に来院される患者さんや、地域の学生さんの通学時の、心の癒しになっています。いつもきれいに花壇を管理していただき本当にありがとうございます。



## 川上哲治氏生誕 100 年に寄せて



元尊厳死協会役員の方から、川上哲治氏生誕 100 年に寄せて貴重な資料のご提供がありました。

2020 年は川上哲治氏生誕 100 年の年にあたり、川上哲治氏の生まれ故郷の人吉市では、本来であれば様々なイベントを官民あげて開催していたところですが、新型コロナウイルスの流行や令和 2 年 7 月の豪雨災害などが重なり多くのイベントが中止となりました。

川上哲治氏生誕 100 年のイベントが中止となったのは残念なことですが、努力の人、川上哲治氏の名言「中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつつ出る。真剣にやれば知恵が出る。」を改めて胸に刻み、2021 年も日々、できることから一つずつ実行していきたいと思っております。

## 年末年始の診療について

年末年始は下記の期間、外来を休診いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご了承ください。

【休診日】 令和 2 年 12 月 29 日(火) から  
令和 3 年 1 月 3 日(日) まで

令和 3 年 1 月 4 日(月) から通常通り診療いたします。

なお、緊急を要する患者さんにつきましては、この限りではありません。

## 新任紹介



上口 美月 (7階病棟・看護師)

趣味：バドミントン、映画鑑賞、YouTube をみること、カラオケ

モットー：思いやりを忘れない

自分の性格：明るい、イヤなことは寝たら忘れます

自分のコマーシャル：人見知りはありません。常に笑顔を忘れず頑張ります。看護師として、人として成長していけるよう日々精進します。

当院では、災害で暗い話題が多い世の中を少しでも明るく照らすことができればという思いから、病院内外にイルミネーションを設置しております。



これまで緩和病棟では、クリスマスコンサートを開催したり、サンタクロースからの贈り物を届けたり、患者さんやご家族の大切なひと時を共に過ごさせていただいておりましたが、今年は、面会制限に伴い、イベントとしての開催は見送りましたが、クリスマスツリーを飾り、冬の訪れに彩を添えてみました。

